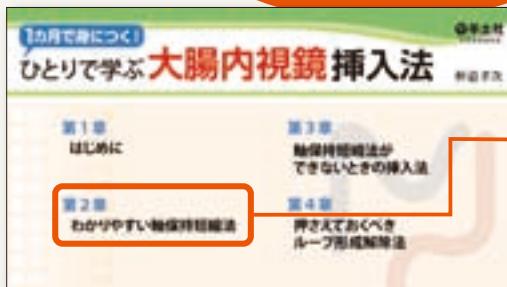


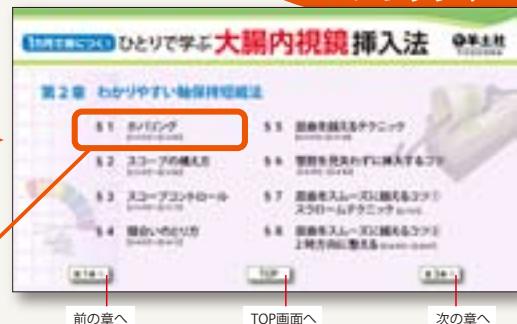
DVDのメニューと内容

①TOP画面



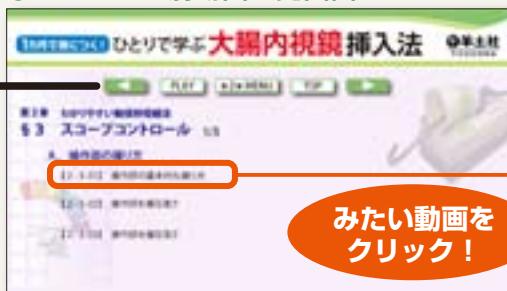
みたい章をクリック！

②各章MENU画面



みたいセクションを
クリック！

③セクション別動画一覧画面



みたい動画を
クリック！

④再生画面



前の動画一覧ページへ



各セクションの全動画を再生



次の動画一覧ページへ

TOP

TOP画面へ

● 収録内容

第1章 ◆はじめに

§ 2 最もシンプルなパターンの挿入法

B. スコープ画面のイメージ

[1-2-01] 軸保持短縮法によるTCS ————— 28

第2章 ◆わかりやすい軸保持短縮法

§ 1 ホバリング

A. ホバリングとは

[2-1-01] ホバリングなしで右ターン ————— 30

[2-1-02] ホバリングありで右ターン ————— 30

B. ホバリング操作の実際

[2-1-03] ホバリングの全体イメージ ————— 33

[2-1-04] アンダルなしでのターン操作のトレーニング ————— 37

[2-1-05] アンダルをかけたターン操作のトレーニング ————— 39

§ 2 スコープの構え方

A. 構えのポイント

[2-2-01] 右手の持ち方（高さと位置） ————— 41

[2-2-02] 720°右ターンするトレーニング ————— 45

§ 3 スコープコントロール

A. 操作部の握り方

【2-3-01】操作部の基本的な握り方	47
【2-3-02】操作部を握る強さ	47
【2-3-03】操作部を握る深さ	48

B. アングル操作

【2-3-04】左手親指1本での操作	49
【2-3-05】左手親指と中指で操作	50
【2-3-06】アングル操作の基本トレーニング（十字の上を移動）	52
【2-3-07】アングル操作の基本トレーニング (長方形の外周を移動)	54
【2-3-08】アングル操作の基本トレーニング（手元の操作）	54

C. ターン操作

【2-3-09】①-60°～60°の右ターン ②(-60°～0°)×2回の右ターン	57
【2-3-10】-120°～0°の右ターンのトレーニング	60
【2-3-11】(-60°～0°)×2回の右ターンのトレーニング	60
【2-3-12】アングル操作とターン操作を組み合わせた トレーニング（半円の上を移動）	62
【2-3-13】アングル操作とターン操作を組み合わせた トレーニング（長方形と十字の上を移動）	62

§ 4 間合いのとり方

A. 腸管の粘膜に対する間合い

【2-4-01】透明フードを装着して挿入	65
【2-4-02】透明フードを装着して挿入（スコープ画面）	65
【2-4-03】ターン操作とアップアングルで直線上を移動	69
【2-4-04】ターン操作とアップアングルで直線上を移動 (スコープ画面)	69
【2-4-05】ターン操作とアップアングルでV字上を移動	72
【2-4-06】ターン操作とアップアングルで膣盆の凸面を移動	74
【2-4-07】ターン操作とアップアングルで膣盆の凹面を移動	74
【2-4-08】ターン操作とアップアングルで膣盆の凹面を移動 (スコープ画面)	74
【2-4-09】実際のTCSでのイメージ	74

B. 屈曲を利用した挿入での間合い

【2-4-10】屈曲に対する間合いのとり方（紙の筒を使って）	77
【2-4-11】屈曲に対する間合いのとり方（アップアングル）	78
【2-4-12】屈曲を利用した挿入のトレーニング (ヘアゴムを使って)	80
【2-4-13】右手と左手を使ってイメージトレーニング (スコープの押し引き)	83
【2-4-14】右手と左手を使ってイメージトレーニング (協調運動)	83
【2-4-15】右手と左手を使ってイメージトレーニング (屈曲を越える)	83

§ 5 屈曲を越えるテクニック

A. アップアングルを使って12時方向の屈曲へ挿入

【2-5-01】アップアングルで挿入するトレーニング (動かない棒を使って)	87
---	----

B. フッキングザホルド

【2-5-02】フッキングザホルドの解説（マウスピースを使って）	90
----------------------------------	----

【2-5-03】フッキングザホルドの解説

（マウスピースを使って・スコープ画面） 90

【2-5-04】フッキングザホルドの解説（透明フードを装着）	90
--------------------------------	----

【2-5-05】間合いのトレーニング	92
--------------------	----

【2-5-06】間合いのトレーニング（スコープ画面）	92
----------------------------	----

【2-5-07】基本動作のトレーニング	95
---------------------	----

【2-5-08】基本動作のトレーニング（スコープ画面）	95
-----------------------------	----

C. 左ターンでの挿入

【2-5-09】スコープを引きながら左ターンする	99
--------------------------	----

【2-5-10】スコープを引きながら左ターンする（スコープ画面）	99
----------------------------------	----

【2-5-11】左ターンで挿入するトレーニング（簡単な腸管）	101
--------------------------------	-----

【2-5-12】左ターンで挿入するトレーニング (簡単な腸管・スコープ画面)	101
---	-----

【2-5-13】左ターンで挿入するトレーニング (挿入がやや困難な腸管)	103
---	-----

【2-5-14】左ターンで挿入するトレーニング (挿入がやや困難な腸管・スコープ画面)	103
--	-----

【2-5-15】左ターンで挿入するトレーニング (挿入がかなり困難な腸管)	105
--	-----

【2-5-16】左ターンで挿入するトレーニング (挿入がかなり困難な腸管・スコープ画面)	105
---	-----

§ 6 管腔を見失わずに挿入するコツ

A. 3つの粘膜との間合い

【2-6-01】管腔を見失わずに挿入するトレーニング (トライアングルを使って)	112
---	-----

【2-6-02】上部消化管内視鏡検査への応用	112
------------------------	-----

§ 7 屈曲をスムーズに越えるコツ①

スラロームテクニック

A. スラロームテクニック

【2-7-01】スラロームテクニックのトレーニング (スキー板のイラストを使って)	119
--	-----

§ 8 屈曲をスムーズに越えるコツ②

2時方向に整える

A. 座標平面を利用して

【2-8-01】2時の屈曲を第1象限に整えるトレーニング	125
------------------------------	-----

【2-8-02】2時の屈曲を第1象限に整えるトレーニング (スコープ画面)	125
--	-----

B. 座標平面とホバリングの融合テクニック

【2-8-03】さまざまな屈曲を第1象限の2時に整える トレーニング	129
---------------------------------------	-----

【2-8-04】術者の視点を変えるトレーニング (通常のスコープ画面)	131
--	-----

【2-8-05】術者の視点を変えるトレーニング (2枚の白い紙を使って)	131
---	-----

C. 最小のライトターンショートニング

【2-8-06】画面中央の上方にある 2時の屈曲を越えるトレーニング	135
---------------------------------------	-----

【2-8-07】画面中央の上方にある 2時の屈曲を越えるトレーニング（スコープ画面）	135
---	-----

第3章 ◆軸保持短縮法ができないときの挿入法

§ 1 困難例に対する効率的なアプローチ

A. 軸保持短縮法で挿入できない理由

[3-1-01] 軸保持短縮法ができにくい症例のパターン化 — 150

B. 土管がみえたときの対処法

[3-1-02] スコープを進めながらホバリング — 152

[3-1-03] その場でホバリング — 152

§ 2 体位変換

A. 長い腸管での体位変換

[3-2-01] 右側臥位を使った挿入 — 156

§ 3 ループ解除のテクニック

A. ライトターンショートニング

[3-3-01] Nループ解除のトレーニング — 164

[3-3-02] αループ解除のトレーニング — 166

[3-3-03] γループ解除のトレーニング — 168

[3-3-04] スコープを約10cm引きながらホバリング — 171

§ 4 閉じた屈曲への挿入

A. 閉じた屈曲への挿入

[3-4-01] 閉じた屈曲のイメージ（虹のイラストを使って） — 176

[3-4-02] 閉じた屈曲のイメージ
(虹のイラストを使って・スコープ画面) — 176

[3-4-03] 閉じた屈曲の挿入（虹のイラストを使って） — 176

[3-4-04] 閉じた屈曲の挿入
(虹のイラストを使って・スコープ画面) — 176

[3-4-05] 閉じた屈曲の挿入（実際のTCS） — 176

§ 5 短縮できないS-topからSDJまでの挿入

A. S-topで10時半方向への挿入

[3-5-01] 10時半方向への挿入テクニック — 178

[3-5-02] 10時半方向への挿入テクニック（スコープ画面）— 178

B. S状結腸後半の挿入

[3-5-03] 右トルクで管腔の左上を挿入する — 180

[3-5-04] 10時半方向への挿入とホバリングのトレーニング — 182

[3-5-05] 10時半方向への挿入とホバリングのトレーニング
(スコープ画面) — 182

§ 6 2時方向以外の屈曲に挿入するテクニック

A. 4時半方向の屈曲への挿入法

[3-6-01] 4時半の屈曲を12時にもってくるトレーニング
(膣盆を使って) — 186

[3-6-02] 4時半の屈曲を12時にもってくるトレーニング
(膣盆を使って・別アングル) — 186

[3-6-03] 4時半の屈曲を12時にもってくるトレーニング
(膣盆を使って・スコープ画面) — 186

[3-6-04] 4時半の屈曲を12時にもってくるトレーニング
(紙コップを使って) — 189

B. 12時方向の屈曲への挿入法

[3-6-05] スライドバイザムコーナテクニック — 191

[3-6-06] 12時の屈曲に挿入するトレーニング — 193

§ 7 土管短縮後の挿入テクニック

A. 2時方向以外への挿入の組み立て

[3-7-01] 10時半と4時半の屈曲に挿入（スコープ画面）— 195

[3-7-02] 10時半と4時半の屈曲に挿入（スコープ操作部）— 195

[3-7-03] 1時半と7時半の屈曲に挿入（スコープ画面）— 197

[3-7-04] 1時半と7時半の屈曲に挿入（スコープ操作部）— 197

§ 8 屈曲の向きを自在に変えるテクニック

A. やじろべいのテクニック

[3-8-01] 屈曲の向きを変えるトレーニング — 202

[3-8-02] 屈曲の向きを変えるトレーニング（スコープ画面） 202

第4章 ◆押さえておくべきループ形成解除法

§ 1 RSを右ターンで挿入する

B. 肛門からRSまでの挿入

[4-1-01] RSを右ターンで挿入するトレーニング — 210

[4-1-02] RSを右ターンで挿入するトレーニング
(スコープ画面) — 210

C. RSの右ターンで意識する屈曲

[4-1-03] RLRで挿入するトレーニング（紙コップを使って） 215

[4-1-04] RLRで挿入するトレーニング（紙コップを使って・
スコープ画面） — 215

[4-1-05] LRで挿入するトレーニング（紙コップを使って） — 215

[4-1-06] LRで挿入するトレーニング（紙コップを使って・
スコープ画面） — 215

[4-1-07] LRで挿入するトレーニング（屈曲イラストを使って） 219

[4-1-08] LRで挿入するトレーニング（屈曲イラストを使って・
スコープ画面） — 219

[4-1-09] RLRで挿入するトレーニング
(屈曲イラストを使って) — 219

[4-1-10] RLRで挿入するトレーニング
(屈曲イラストを使って・スコープ画面) — 219

D. 水を利用して屈曲の向きを確認

[4-1-11] 半分浸水法での挿入 — 223

§ 2 S状結腸から脾彎曲までの挿入

A. 軽い右ターンで挿入する

[4-2-01] ループ形成解除法によるTCS — 226

